

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「パラダイム・シフトの時代に」

東京バプテスト神学校校長・藤沢バプテスト教会牧師 坂元幸子



全国壮年会連合に連なる諸教会・伝道所の皆様、いつも東京バプテスト神学校の為にお祈りとお支えをありがとうございます。神学校一同より心から感謝を申し上げます。

先日テレビで人体の仕組みについて新しい発見を紹介する番組があり、これまでの常識が覆されているとの医師の言葉を聞きました。その時使われた「パラダイム・シフト」という言葉は、近頃教会においても頻りに耳にするようになってきました。今までの固定化した理解や価値観の枠組みから自由になり、新しい変化や視点を受け入れて自分自身が、そして教会が変えられてゆく。そのようなパラダイム・シフトが今、求められています。

変化の一例はIT（情報技術）の活用です。東京バプテスト神学校では近年ライブ授業の需要が高まり、教室に通う受講生よりライブで参加する受講生が増えています。「人間に仕える奉仕者／伝道者の養成は顔と顔を

実際に合わせてこそ！」そう思われる方も多いでしょう。確かにその基本原則はいつの時代も変わりません。と同時にITを活用して大胆に学びの機会を広げ増やしてゆく、それもまた一つの可能性ではないでしょうか。当校ではこの秋の連続公開講座「信徒のための説教」で初めて「共同受講」に取り組みます。一つの教会から複数の受講生が牧師（または代務者）のもとに共に受講し、その後は教会内で意見交換やフォローアップを行います。このように教会の現場との緊密な連携のもとでライブ授業は質的にも充実し、その意義が更に深まることを期待しています。「・・・むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。」（ローマ12：2）ここで「心」とは「知性」（ヌース）です。み心を知るためには私たちの考え方の変化が必要です。パラダイム・シフトの時代、主が導いて下さる変化に期待してゆきましょう。

2017年度全国壮年会連合総会【審議報告】 開催日：2017年8月25日（金）

議案No	議案	結果	議案No	議案	結果
1	1-1 2016年度全国壮年会連合活動報告	承認	6	2017-2018年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案	承認
	1-2 2016年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告	承認			
	1-3 2016年度監査報告(業務監査)		7	2017年度全国壮年会連合一般会計修正予算案及び2018年度全国壮年会連合一般会計予算案	承認
2	2-1 2016年度一般会計決算報告	承認			
	2-2 2016年度奨学金会計決算報告	承認	7-2	2017年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案及び2018年度全国壮年会連合奨学金会計予算案	承認
	2-3 2016年度監査報告(会計監査) 1-3と合わせて	承認			
3	2018年度神学校献金(神学生奨学金献金)目標額の件	承認	8	2018-2019年度全国壮年会連合会長・副会長・監査	承認
4	全国壮年会連合規約細則改正に関する件	承認	9	第54回(2019年度)全国壮年大会担当地方連合の件	承認
5	2017-2018年度全国壮年会連合活動計画案(WG答申に対するプロジェクトを含む)	承認	10	2018年度 総会議長の件	承認

「神学生の証し」 「牧会者として」

西南学院大学神学部専攻科 伊藤真嗣



いつも私たち神学生をお祈り支えて頂き感謝致します。最終学年を迎え、改めて牧会者とは何かを考える機会を頂いております。

神学校とは牧師を養成する機関ですが、それだけではありません。さまざまな方々がいて共に机を並べて勉強し、時に熱く議論をしながら自らの神学を深めていきます。自分の聖書観が砕かれた時には、御言葉を聴き、他者と対話しながら、初めて新しい神学を受け止めることができるのです。

また西南学院大学には、色々な道から来た方がおられます。他大学から神学校にきた方、3・40代、さらには50代になって思い切って献身をしてくる方、牧師を志望する道だけではなく、神学を学びたいという理由で大学院に進む方もいらっしゃいます。独身も既婚者も、男性も女性も、いわゆる健常者も障がい者も、西南学院大学には色々な人生を抱えてやってきます。このような、キリストの名によって、たくさんの方々が集まり、交わりを喜び、賛美し、神に招かれて、バプ

テストの群れができています。

昨年度、熊本地震が起きた直後は、西南学院大学から多くの学生ボランティアが参加し、私もその一人として、被災地の方々と復興の道を求めました。現場で汗を流し、語り、祈ることで、献身者としての自覚と使命感がはっきりと示されたのです。主の力はこのような困難な中にこそ、働くという御言葉の確信を得ることができました。

『私は良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる』(ヨハネ10:11)

牧会者に必要なことは、人々との触れ合いによって牧会を実践的に学び、経験する姿勢です。西南学院大学で学んだことを根底に置いて、真剣に神を礼拝する共同体としての教会をつくりあげていきたいと思えます。そしてイエス・キリストは十字架を背負い、私たちのために自ら低くなり共にいて下さいました。

これから卒業を迎えて、私も主に従って牧会者として御言葉に立ち、羊たちと共に歩んで行きたいと思えます。

「神学校献金に関心を持つ」

中四国地方連合神学校献金推進委員 石倉 央 (広島教会)



「愛の対義語は無関心」という言葉があります。ものごとに関心をもつこと、他者に関心をもつこと、関わることから、愛が始まり、関心をもち関わることは、信仰生活のあらゆる場において大切な事柄だと思います。神学校献金は将来の牧会者を育てる奨学金として用いられる私たちバプテストの希望であり地味ではあるが絶やしてはならない大切な働きです。今、全国に13名の神学校献金推進委員が、各地方連合に1名、広域の地方連合もあり、目立たない存在かもしれませんが、神学校献金に皆さんの関心をもってもらうべく地道に働いています。諸教会にチラシを配布したり、推進のお願いの手紙やメール送ったり、近隣の連合と情報共有の機会を持ったり、あるいは、自らパンを焼き献金を募ったり、限られた時間と資源の中で、それぞれが工夫した活動を行っています。全

国壮年大会に合わせた推進委員会議において、年1回の唯一の集合機会ですが、それぞれがどのように悩み考え、どのように働いているのか、またどのように働いたら良いか、共有を図っています。来年度からは神学校献金(神学生奨学金献金)封筒が全国一律配布から各地方連合単位の配布に変更され私たちの働きはより創意工夫が求められます。私は中国四国連合で推進委員の働きが与えられて8年目となります。大きな働きができていたとは言えませんが、神学校週間には神学校と神学生のことを祈り覚え、神学校献金に関心を思い起こしていただく。そして壮年会活動、各教会での活動にとどまらず連合また全国の壮年会活動に関心を思い起こしていただく。多くの方が活動に関心をもち参画していただく。関心をもっていただくことが大切な働きであると信じています。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務: 月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax: 048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp